

No.3 May.
2012

Council No.8 Japan Region
Newsletter



会合を通して得る学び 創意工夫と成し遂げ感

問題は調整能力で乗り越える

カウンスル No. 8 会長 寺西 キヌ子

桜が見事に咲き誇る4月7日、第2回会合が行われました。昨年は桜を愛でる余裕もなかったせいも、特に今年は心に残る日本の美しい春の日の会合となりました。今回も会場は初めて使用する女性就業支援センターでしたが、担当クラブやスピーチコンテスト委員会の入念な準備により、スピーチコンテストは無事終了することができました。

スピーチを聞くたびに思うことは、それぞれの個性による視点から練り上げられた内容と、それに即した話し方で繰り広げられるスピーチの素晴らしさです。ITCの学びの大きな目標であり、成果であります。私はそれにも勝るとも劣らぬ大きな学びを会合を通して得ることができました。このような思いに至るのは、私だけではなく多くの会員の皆様も同じではないでしょうか。会合を通してそのたびに得る、皆様で作上げていく達成感は素晴らしいものです。たとえ会場が変わろうとも、それぞれの役目を創意工夫により成し遂げられました。もちろん多少の意見の食い違いはあります。そのような問題も皆様の調整能力が働き前進してまいりました。そのような魅力ある会員の皆様と触れ合い作上げていく喜びは私にとって、ITC最大の魅力とっております。

来期はカウンスルはもちろんですが、第31期リージョン大会も、我がカウンスルNo.8の力を結集して開催いたします。きっと素敵な出会い・学びが待っていることでしょう。その過程の様々なことを通して、皆様とともにITCを楽しみましょう。



第22期 第2回会合

報告

By 田村純子

カウンスル No. 8 第 2 回会合は、2012 年 4 月 21 日（土）10 時 30 分より女性就業支援センターにおいて、寺西会長を議長として会員 84 名ゲスト 13 名出席のもと開催された。葛谷美紀子日本リージョン会長小菅あけみ日本リージョン次期会長稲葉由利子日本リージョン第 2 副会長がゲストとして出席された。

カウンスル会長からの報告

1. 12 月 8 日京都での「リージョンとカウンスル会長との検討会」に出席した。
2. 第 30 回日本リージョン年次大会が、名古屋東急ホテルで 6 月 24、25、26 日に開催される。
3. 次回第 31 回大会は、カウンスル No. 8 がホステスクラブとして、大会準備委員会を組織し活動していく。

続いて、第 1 副会長、第 2 副会長、書記、会計の報告及び請求があった。

常任委員会報告

資格認証委員会

彩玉クラブよりコース 1 修了者 1 名コース 4 修了者 1 名、柏クラブよりコース 2 修了者の申請があった。

3 月にリージョン資格認証委員会から、新たに資格認証コースの取得を始める方は、マスターマニュアル第 3 章の課題表をコピーして使用する旨連絡があった。

その後、スピーチコンテスト委員会ウェブサイト・会報委員会の報告があった。

特別委員会報告

リージョン資料部員が報告した。

特別予定議事では

常規 3 修正案に対しては、一部修正の動議が出され、修正された原動議が過半数（賛成 9・反対 2）の賛成を得て採択された。

続く次期役員指名選挙では山内昌子指名委員長から提出された次期カウンスル役員候補者名簿に追加指名は無く口頭採決が行われ、

会長：柴田ひささん（サンデー）

第 1 副会長：八尾和子さん（東京セントラル）

第 2 副会長：木村由利子さん（柏）

書記：佐山純子さん（東京）

会計：浅井正子さん（東京）

が選出された。（中央写真左から順）

寺西会長が次期役員 5 名を紹介後、

柴田次期会長が来期のテーマは

「今、ここに心を込めて」と発表し

「ITC は私のエネルギー。次の人が是非やる気になれる会をめざして一緒に」と就任の挨拶をした。

(Continued)

事務会議後、アナウンスメントで会長が、盛岡クラブの森会長より、「介護用に不要のタオルやシーツが不足しているので協力して欲しい」と依頼があった。詳しくは、次回カウンスルメールにて配信するので協力して欲しいと案内した。

次回会合発表 八尾次期第1副会長は、カウンスル No. 8 第23期第1回会合は、2012年10月29日（月）に行うと報告した。

昼食の後、12時40分から午後のプログラムが開始した。

・・・ インスピレーション・・・

「人は、できると思い始めた時、実に並はずれた能力を発揮する。人は、自分の力を信じる時、成功の一番の秘訣を手にする。」

・・・ ノーマン・ヴィンセント・ピール・・・



「スピーチコンテスト」

英語の部 プログラムリーダー：椎名恵子さん（サンデー）

優勝者：丸田晶子さん（柏）

2位：田中明さん（サンデー）

審査員：Graham Robson 様、Steven Paydon 様、曾根悦子様、審査員代理：岩佐圭子会員（東京）

日本語の部 プログラムリーダー：田中真紀子さん（アクア千葉）

優勝者：鳥谷まゆみさん（葦崎）

2位：橋爪明子さん（横浜）

3位：松下ゑんさん（東京）

審査員は：葛谷美紀子様、曾根悦子様、前川晃子様、審査員代理：根岸千代会員（東葛）

スピーチコンテストは、英語の部4名、日本語の部6名のクラブ代表によっておこなわれた。

会長が東京、葦崎の担当クラブと、コーディネーター・浅井正子さん、コ・コーディネーター・山口久美子さんに謝辞を述べた。

会合終了後、アナウンスメントで

1. 小菅あけみ次期会長が、第30回 ITC 日本リージョン年次大会が6月24, 25, 26日名古屋東急ホテルで開催されると通知した。
2. 第31回 ITC 日本リージョン年次大会は、2013年6月3, 4, 5日東京ベイ舞浜ホテルリゾートで開催され、コーディネーター山内昌子さん、コ・コーディネーター岩佐圭子さん・西村郷子さんが務めると紹介した。

第31回日本リージョン大会コーディネーター山内昌子さんが開催日 No. 8 会員のご協力を願いたいと述べた。

今回の「この人」は
今期カウンスルNo.8
スピーチコンテスト
優勝者のお二人です。

第2回会合終了後
インタビューしました。



スピーチコンテスト優勝者に聞く

英語の部

丸田晶子さん（柏クラブ）

日本語の部

烏谷まゆみさん（葦崎クラブ）

インタビュアー 篠原弘子

——おめでとうございます。まず、ITC歴とスピーチコンテスト歴をお聞かせ下さい。

丸田 ITC歴は20年。クラブスピーチコンテスト出場5回。カウンスルは4回リージョンは2回出場しました。

烏谷 ITC歴は21年。クラブ出場は6～7回、うち優勝は3回です。

——論題からどのような形でスピーチの構成へ結びましたか。

烏谷 「物差し」という論題から、目盛りを狂わせない判断力を持つべきだと考えました。

丸田 手元にストックしてある様々な資料を見直し、論題とつながるものを選び出し組み立てていきました。

——今回一番苦労した点は何でしょうか。

丸田 毎回言えることですが、スピーチ原稿の作成です。言いたいことをわかり易い英語でどうすれば表現できるかで苦労しました。

鳥谷 自分が何を訴えたいのか、つきつめることです。

——一番楽しかった点はどんなことですか。

鳥谷 どうしたら笑いをとれるか考えることですね。

丸田 スピーチが終って緊張感から開放されたときです。

——クラブで発表した時とカウンスルでの発表と何か違いがありましたか。

丸田 カウンスルでは多くの聴衆を前にとってもドキドキしました。年々記憶力の低下を痛感しています。

鳥谷 構成は変えませんでした。例などの内容はかなり変えました。

——最後に、お二人にとってのスピーチコンテストとは何でしょう

鳥谷 チャンスと自己実現です。

丸田 数年に1回まわってくる、越えるべき高い丘。先に進む程険しくなっていく丘です。

お疲れのところ、インタビューに応じて頂き有難うございました。
お二人のリージョン大会でのご健闘を祈っています。

苦しさ…

考えること、

構成を組み立てること、

訴えたいことを追求すること…

喜び…

観客の顔を想像すること、

スピーチの終了時の開放感…

する前も、

している間も、

終わった後も、

すべて楽しい…

それが ITC スピーチコンテスト

二人のスピーチは私たちにそれを
教えてくださいました。

編集後記

「目標を達成する最高の方法は柔軟性です。」非暴力民主化運動指導者アウンサンスーチー、
「問題は起こる。要はそれをどうやって解決するか。」寺西会長の言葉、
変化を恐れず、困難を逆に楽しむ、ITCではそんな知恵を学べます。

1年間お世話になりました。ありがとうございます。 Saiki

